

ファイナルレポート

インターモト 2016／国際オートバイ・スクーター専門見本市

会期：2016年10月5日(水)～9日(日)

会場：ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

インターモト 2016、あらゆる面で過去最高を記録 — 最多の新型モデル発表、最高の出展者数、最高の来場者数、そして最高の熱気！

「インターモト customized」でバイクの情感を体験

ドイツのケルンで開催された世界最大級のオートバイ・スクーター専門見本市インターモトは、あらゆる面で過去最高を記録し、輝かしい成果を上げました。車両メーカーから約 40 の新型モデルが発表され、優れたイノベーションの数々が紹介されました。さらに今回のインターモトでは、情感を体験できる世界を創出し、オートバイ見本市における新たなベンチマークを築きました。なかでも、バイクのカスタム(改造やドレスアップ)とそのライフスタイル・シーンをテーマとした「インターモト customized」は、ショー・イン・ショー(見本市内の見本市)として催され、バイクに魅了された人々の熱気で大いに盛り上がりました。この状況に相応して、これまでよりはるかに多い過去最高のバイク・ファンがケルンのインターモト会場に押し寄せ、95 カ国から 22 万人以上が来場しました。ケルンメッセのゲラルド・ベーゼ社長は「インターモト 2016 は巨大イベントとなり、大きな成果を収めました。我々はバイクのカスタム分野を取り込むなど新たなコンセプトで、個性や情感、情熱に支えられた新たな時代の始まりを告げました」と喜びを隠しません。ドイツ二輪車工業会(IVM)のライナー・ブレンディック専務理事も、インターモト2016を大成功と受け止めており、「イタリアからの業界関係者が増加するなど、来場者に関して非常に好ましい結果になりました。これは、この業界が革新的で将来に向けて発展していくことを示すものです。バイク業界は時代のトレンドを取り入れて、一人一人の個性に合わせるために、あるいは初めてバイクに乗る若者向けに、次々と新しいモデルやコンセプトを創出しています。若者は都市の移動手段として、またライフスタイルの表現の一つとして、自動二輪車の魅力を再発見しつつあります」と強調しました。出展社数は前回比で 17%増加し、40 カ国から 1,133 社が新製品ならびに既存製品を披露しました。ケルンメッセのカタリーナ・クリスティーネ・ハマ副社長は「インターモトの会期前や会期中に新型モデルが多数発表され、メディア — 特にオンライン・メディアやソーシャル・メディア — によって世界中に伝えられたことは、オートバイ界で最も重要な見本市であるインターモトの影響力の大きさを示しています。オートバイ業界とオートバイ・シーンは常に最も重要な場所に集まるものですが、それがケルンのインターモトです」と断言しました。

ショー・イン・ショーのコンセプトによる「インターモト customized」と「インターモト e-motion」は、オートバイ業界の見本市が今後さらに発展していくための新たなベンチマークとなりました。ここでは、消費者の心を掴み、業界が取り組んでいるトレンドやテーマを目の当たりにすることができました。ライフスタイルや好みに合わせて自分のバイクをカスタムするというトレンドは急速に拡大していますが、「インターモト customized」はこのトレンドを象徴するものとなりました。100 社以上が、今回初めて設けられた「インターモト customized」に出展し、奇抜な改造から、バイクウェア、シーンに応じた家具や装備品まで幅広い製品

を披露しました。さらに、華やかな改造を競う AMD カスタム・バイク・ビルディング・チャンピオン大会、1/8 マイル(約 200 メートル)レースの *Essenza*、さらにカスタムバイクによるレース *Sultans of Sprint* が、「インターモト customized」のハイライトとして開催されました。ガレージ・エリアでは、プロによるバイク改造の実演も行われました。

メーカーによる製品紹介に加えて、華やかなショーやオートバイ競技、さらに魅力的な体験プログラムを組み合わせたユニークな見本市インターモトは、盛況のうちに 5 日間の会期を終えました。出展した各企業は非常に満足しています。BMW、ドゥカティ、ハーレーダビッドソン、ホンダ、ホレックス、カワサキ、KTM、キムコ、ピアaggio グループ、ポラリス、スズキ、トライアンフ、ヤマハをはじめ、メーカーは数多くの新型モデルを発表し、世界の業界関係者と一般のバイク・ファンの双方を熱狂させました。

電動二輪車と駆動テクノロジー部門の「インターモト e-motion」では、都市の移動手段や活動的な余暇活動のための新製品の数々が紹介されました。「インターモト e-motion」の出展社は、会場に多数の来場者が訪れ、業界関係者や一般来場者と直接話げできたことを喜びました。欧米では e-bike と呼ばれている電動アシスト自転車は、余暇のためだけでなく、既にスポーツサイクル分野に導入されて成功を収めています。一方、電動バイクは、都市の交通手段の一つとして大きな注目を集めつつあります。電動アシスト自転車と電動バイク用の試乗コースには多くの人が訪れ、1 万 5,000 回以上もの試乗が行われました。今回のインターモトで新たに設けられた「ツーリング大通り」と、四輪バギーに焦点をあてた「エリア 4」も好評を博しました。

来場者は、会場ホールでの豪華な演出による魅力的な展示を見て回るだけでなく、会場の野外スペースで、全ての車両部門の最新モデルを試乗することもできました。運転免許を持っていない未経験者や子供のための体験エリアもありました。さらに、スタントマンによるショーやプロ選手によるオートバイ競技などのアトラクションも野外スペースで開催され、観衆を沸かせました。

インターモト 2016 には 95 カ国から 22 万人以上が来場し、過去最高を記録しました。全来場者のうち業界関係者の割合は 26 パーセントで、再び高い水準となりました。国外からの業界関係者の割合も大きく、約 42 パーセントでした。特に北米と南米、そしてアジアからの業界関係者が大幅に増加しました。欧州ではイタリア(8%増)、ベルギー(10%増)、フランス(7%増)からの業界関係者の増加が目立ちました。

インターモト 2016 に関するデータ

インターモト 2016 には 40 カ国から 1,133 社が出展し、うち 67%はドイツ国外企業でした。会期最終日の推定値も含めると、95 カ国から 22 万人以上のバイヤー・来場者が訪れました。来場者のうち業界関係者の割合は約 26%、うち 42%はドイツ国外からでした。総展示面積は約 12 万 9,000 平方メートル、これに加えて約 7 万平方メートルの野外スペースで併催プログラムが行われました。

次回のインターモトは 2018 年 10 月 3 日(水)~7 日(日)に開催予定です。